

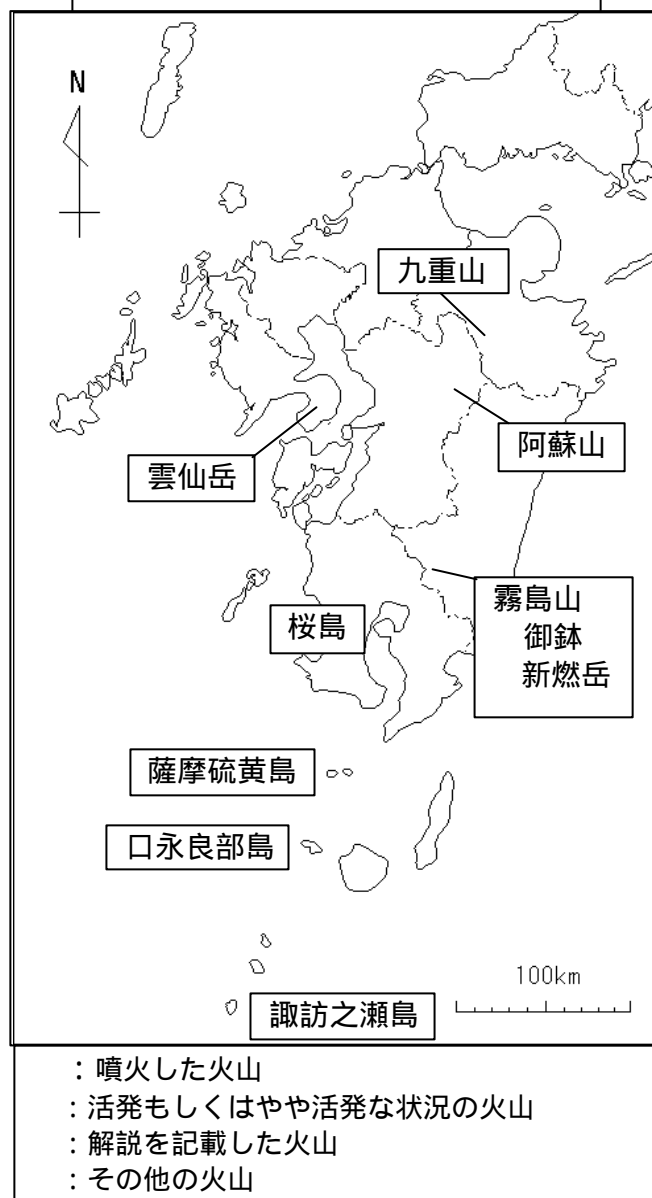
九州地方の火山活動解説資料 (平成 19 年 7 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【7月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

九州地方および山口県の活火山



各火山の活動概況

九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山
[御鉢：静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
[新燃岳：静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]
昭和火口、南岳山頂火口からの噴火の発生はなく、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。火山性地震や火山性微動は少ない状態で推移しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]
火山性地震、火山性微動はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]
小規模な噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

注1 資料中にあるレベルとは、火山活動度レベルを示しています。現在、福岡管内では8つの火山に導入しています。

この解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象庁ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 19 年 8 月分)は 9 月 7 日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。